

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	膵がんの進展・治療応答性と腸内・口腔内・腫瘍内細菌叢およびその代謝産物との関連
	研究対象者	膵癌と診断された患者さんのうち、2005年10月から2023年6月までの間に神奈川県立がんセンターで手術、あるいは抗がん剤等による治療を受けられた方
	研究目的	膵癌の発症には腸内細菌の活動が関与していることが知られていますが、患者さんの血液中に流れているとされる細菌の代謝産物と癌の発症に関する詳細な研究は未だなされていません。この研究では、膵癌患者さんの血清を用いて、細菌由来の脂肪酸を始めとする代謝産物を解析し、膵癌の発症や進展、治療反応性に関わる因子を同定することを目的としています。
	研究方法	質量分析と言う解析方法を利用して、血清中の短鎖脂肪酸、その他の代謝産物を測定し、その結果と、臨床情報を突合して、膵癌の発症や進展、治療反応性に関わる因子を同定します。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます。
	研究期間	西暦 2023 年 10 月 23 日～西暦 2026 年 3 月 30 日
	利用又は提供を開始する時期	[] 総長が研究実施を許可した日 [x] 西暦 2023 年 11 月 20 日頃 (研究の進捗によって前後いたします)
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	[x] 試料:	[] 血漿、[x] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体(具体的に記載: __)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載: _____)
	[x] 情報:	[x] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[x] 年齢、[] 生年月日、[x] 性別、[x] 既往歴、[x] 併存疾患、[] 外来日・入院日・退院日、[] 臨床検査値、[] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[] 臨床所見・経過 (予後追跡データを含む)、[] ゲノムデータ、[] 看護記録、[x] その他(具体的に記載: 家族歴、喫煙歴)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 臨床研究所・宮城洋平
	共同研究機関および責任者	施設名・氏名 北海道大学遺伝子病制御研究所がん制御学分野・園下将大 東京大学医科学研究所・醍醐弥太郎
	その他の機関	施設名 (・氏名)
	外国へ提供する場合	該当なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター臨床研究所・佐藤慎哉 連絡先：045-520-2222 (がんセンター代表) 利用停止のお申し出は 2023 年 11 月 17 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	